

一、來栖到着後第一回會談ノ要旨電到著
 令談ノ應酬振リナクテ居ラス曰ク東條
 總理ハ意外ニ平和論者ニシテ三國同盟
 又通商問題ハナントカナルベシ唯駐兵問
 題ハ絕對讓歩不可能ナリ又曰ク米谷
 戰ニテモ日本ハ背後カラ衝カズ又結志
 三國同盟ハ實質的ニ冰解スベシ又曰ク
 南部佛印カラ撤兵スルカラ先ツ物ヲ奇
 コト登キ

二、連總會議 右ニ村シ東郷外相ニ憤慨
 早速別電アル迄交渉中止セヨト打電

シ次テ乙案全部ヲ提示ニテ折衝セヨト
 訓電セル旨披露アリ

尚外相ハ野村大佐が私案トシテ援將停
 止ヲ含マザル乙案一部ノミヲ提議シテ
 ルニ對シ甚ダ遺憾ナル旨打電セリ

三、右外相ノ意置ハ大イニ可好評ヲ博セリ
 東郷ノ態度ハ典田ノ哀訴的ナルニ比
 シテ毅然タルモノアリ一腔ノ敬意ヲ表ス

四、此ノ如クニテ遂ニ甲案不成立乙案交渉
 ニ入ルヲ刻到着ノ野村電ニ依レハ前記
 私案ニ對シテハ米調印ノ識名アリト

然レドモ乙案全部ノ提議終ニ後蔣停
止ノ要求ニ依リ交渉ハ決裂スベキコト最
早疑ヲ入レズ

五 野村ノ只魯古九非戰態度彼ハ果シテ之ニ
依リ帝國ノ生存ト權威ヲ確保シ得ル
ト思考シアルモノナリヤ 外ニ使シテ君國
ヲ辱カシメルモノ是レ野村海軍大將ナリ
自由主義的世界觀ニ立脚スル野村
大將ノ本質的缺陷ニ非ズシテ何ゾヤ

一 昨夕以來野村中佐ノ奮闘ニ依リ帝國ハ
絶對ニ讓歩セルモノニアラス 又交渉日時ノ
餘裕ハ既ニ十キ旨大匠總長電トシテ
發電ス

又乙案妥結ニ伴フ保障措置之明日ノ
連絡會議ニ於テ正式決定ノ上打電
スルコトナリ 次長ヨリ其内容ノ梗要ヲ
内報ス 右何レモ種村中佐ノ活躍ニ依
ル其勞ヲ多トス

二 天野第六課長右ニ勢ヲ得テ在米武官
ノ今日迄ニ於ケル陸軍ノ真意不認識